



千川中 学校だより 9月号

令和8年9月1日 発行

豊島区立千川中学校

豊島区千早2-39-16 学び舎びいす

TEL 03-5995-6150

実り多く、成長する2学期に

校長 岡泉 美和子



今年は「酷暑日」という言葉が生まれ、地域によっては40度に近い気温に達するなど厳しい暑さが続いています。7月28日には、熊本県で強い地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。今もなお、避難生活が続いたり、復旧に向けて懸命な努力が続いたりしています。また、千葉県では、8月中旬に記録的な豪雨が発生し、各地に浸水被害をもたらしました。その後、各地で記録的大雨による水害も起きています。一日も早く日常がもどることを祈ります。

生徒のみなさんは、どんな夏休みを過ごしたでしょうか。心身ともにゆとりある時間を過ごすことができたでしょうか。教科の課題への取組、サマースクールへの参加、部活動の練習や練習試合への参加、コンクールへの挑戦など、それぞれが目標をもって取り組みました。家庭の中で自分の役割を継続的に果たしたり、趣味や特技に時間をかけたりした人もいません。また、地域で開催された夏の行事に出かけたときに、生徒のみなさんが元気に過ごしている姿に会うことができました。地域の一員として行事の手伝いをしている千川中の生徒の姿をみて、たのしくもあり、成長を感じる瞬間でした。

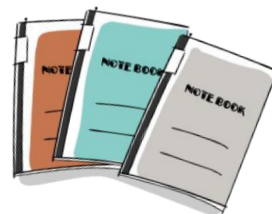
2学期が始まりました。まだ暑さが厳しく、体感的には夏ですが、この2学期は、季節が夏から秋へ、そして冬へと3つの季節をまたぎながら進んでいく長い学期です。これまで積み上げたことを土台に、さらに充実させていく成長の2学期です。まずは、時計の針を夏休みモードから学校生活がある毎日にもどしていきましょう。一日の生活リズムを規則正しく整えていくためには、次のことが大切です。

- 十分な睡眠をとりましょう。回復した体力は、すべての活動のもとにつながります。
- 少し早起きをして、登校するまでの時間に余裕をもち、朝ご飯をしっかり食べましょう。
- ひとつひとつの授業を大切にうけましょう。期限に間に合うように早めに取り組みましょう。

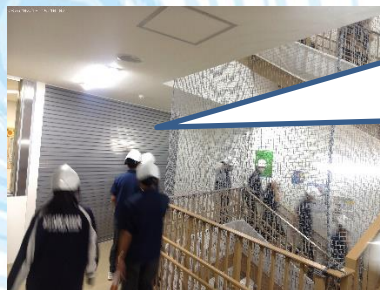
当たり前のことをしっかり取り組むことは、心身ともに健康に過ごすために大事なことです。時間にゆとりが生まれると心にもゆとりが生まれます。学期始めは「確実な一步一步」を大切にしましょう。2学期は、校外学習(1・2年)・修学旅行(3年)・文化祭、部活動秋季大会など、取組が数多く予定されています。課題に積極的に取り組み、互いに高め合い、成長できる2学期です。

さて、今日9月1日は、暦の上では二百十日、立春から数えて210日目ころ。古くから台風襲来と稲の開花の時季を指し、この後、稲が色づき、稲穂が垂れ始める秋へと季節が移っていきます。自分を耕した夏が過ぎて、実り多い成長の2学期を迎えていきます。

保護者の皆様、夏季休業中の三者面談にご協力いただきありがとうございました。ご相談させていただいたことは今後の指導に生かしてまいります。今学期も引き続き、教職員一同、教育活動に尽力してまいります。よろしくお願いいたします。



千川中学校の防災



7月は、校内の防火シャッターをすべて下ろした状態で避難訓練をしました。

防災ジュニアスタッフ発表会&表彰式

7月15日に、防災ジュニアスタッフとして1年生の頃から活動してきた3年生スタッフによる訓練成果の発表と表彰式が実施されました。

本番の緊張感の中、これまでの訓練の成果を十分に発揮をし、ハキハキとした掛け声とテキパキとした操作で、「さすが3年生スタッフ!」という拍手が自然と巻き起こっていました。

これまでの3年生スタッフの活動に対する表彰式では、地域防災に関心をもち、こうして活動を重ねて自信をつけること。そうして地域の大切な力になること、そんな千中生に期待していることなどを、池袋消防署高松出張所の隊員さんや消防団長さんからお話いただきました。



自衛消防訓練

2学期のスタート、そして防災の日を翌日に控えた夏休み最終日である8月31日には、教職員による自衛消防訓練を全員参加で実施しました。

訓練には、池袋消防署高松出張所の所長さんをはじめとした多くの団員さんも駆けつけてくださいました。

職員全員での消火器訓練や実際に校内の消火栓を使っでの放水訓練、校内放送機器操作の確認、救助袋の確認などを実施しました。

消火器のピンを抜くタイミング、大人でもふたつほどの消火栓放水の水の威力など、体験したからこそその学びが多くありました。

